



福井



めざす子ども像
豊かな心を持った子
進んで学ぶ子
最後までやりぬく子

〒684-0404
海士町福井 394 番地2
TEL08514-2-0750
FAX08514-2-0790
Mail
fukui0750@gmail.com

絆を深めた校区体育大会

十月九日、前日の雨に心配をした校区体育大会でしたが、子どもたちの願いや地域の方々の思いが通じたのか、予定通り開催することができました。

当日は各競技も白熱し、審判長の言葉にもあつた「掛け」をする人もなく、参加された皆さんが大いに楽しんだ一日となりました。午後のフオークダンスでは、地域の皆さんと一緒に輪に入り、各地区の輪には笑顔があふれていました。子どもたちは、学校の種目のほかに各地区の代表としても出場する種目も多く、地域の一員としての活躍が光りました。地域と一体となったこの体育大会は、海士町ならではのよじ伝統行事となっています。

この大会に向けての準備や当日の運営等に



たくさんの方々に協力いただきました。本当にありがとうございました。

さて、この体育大会は、地域や区の連帯を高めたり、学校の子どもの様子を見て頂いたりするのにも大切な機会となっています。同時に、本校が校区協議会を中心とした校区の皆さんの温かい想いによつて支えられていることを強く感じました。

- 以下に主な成績をお知らせします。
- 綱引き
 - 優勝 菱浦 準優勝 上方
- 年代別リレー
 - 優勝 中里 準優勝 西福井
- 総合成績
 - 優勝 中里 準優勝 西福井
 - 優勝 中里 準優勝 西福井
 - 三位 菱浦 四位 上方

陸上記録会

九月一七日に海士中学校のグラウンドで予定されていた第六六回島前陸上選手権大会に向け、二学期の始まりと共に陸上練習もスタートしました。今年は、走り込む量を増やし、1000m走り切る体力をつけることを意識して練習が行われました。大会前日には、一・二年生が素敵な壮行式を開き、選手のみならず、応援してくれました。しかし、春の全隠岐陸上大会に引き続き、今



回の大会も荒天のため中止となつてしまいました。九月二八日、島前小学校四校で計画した小体連陸上記録会も悪夢の再来か、荒天のため中止となりました。せつなく頑張ってきた子どもたちの練習の成果を發揮する場として十月一二日に陸上記録会が設定されました。

当日は、秋晴れの天候に恵まれ子どもたちは、自己記録の向上に全力で取り組んでいました。海士小学校や知夫小学校と合同で実施できたので、他校の子どもたちと競い合う中で多くの自己ベスト記録も生まれました。いい汗をかき、いい顔の子どもたち。競技だけでなく応援も全力で頑張りました。「けいけい...よやくやく...」仲間を応援する素敵な声。競技をしている人にとつて、大きな支えとなつたことでしょう。

この大会を通して子どもたちは、何事も全力で頑張ると、途中であきらめず、粘り強く続けることの大切さや、仲間がいることの有難さについても感じたことと思います。今後子どもたちの体力向上につなげるよう引き続き指導していきます。

大収穫の芋ほり

秋晴れの気持ちがいい日。絶好の芋ほり日和となつて、たてわり班でさつま芋ほりをしました。高学年を中心に芋ほりの準備を進め、草抜きやマルチ外しなど進んで働く姿が見られました。

畑の中からはたくさんのお芋が顔を出し、子どもたちも大きなさつま芋を掘り起こしては歓声をあげていました。大きなさつま芋ももちろんですが、面白い形のさつま芋も見つかり、紹介し合い和やかな時間となりました。今月末は、焼き芋もします。ホカホカの焼き芋が、今から楽しみです。(文責 兵馬)



森林事業「森」コミュニケーション

NPO 法人もりふれ倶楽部の野田さんと隠岐自然村の深谷さんに来ていただき、お話しと二つのアクティビティを通して、森の大切さ、自然の偉大さについて学びました。

一時間目は、森の中では使いやすいサイズの木を切ることによつて空間が生まれ、新しい命が育つていくこと、それによつて多様な生物がのびのびと生活できることなど森の生態系を保つ仕組みのお話しをしていただきました。昔は、森とともに生活をしてきた人々も、今は

燃料としての木材が必要なくなり、このサイクルが壊れているところがたくさんあります。全国第三位の森林率(80%)の島根県にも関わらず森を意識することが少なくなっている中、二時間目はフラインドウォークと人工物の宝さがしを行いました。フラインドウォークでは普段意識することのないお音、触感に意識が向いたり、自然界の中のしくみからの学びをたくさん感じたりすることができました。

テレビやゲームなどの作られたものにはまりがちな子どもたちですが、今回の活動を通して、生物多様性を未来に残す責任、この地球に今、一人一人の小さな命がある奇跡を少しでも感じて感謝することにも、今ある地球資源の偉大さを考える機会になつていたらうれしそうです。(文責 吉井)

小中俳句教室

十月一二日、心地よい秋晴れの中、隠岐神社にて、小中合同俳句教室が行われました。海士中学校、海士小学校、福井小学校の三校の児童生徒が一緒に俳句を作ろう。そんな計画が、昨年度は悪天候で中止になったこともあり、今年度の開催は嬉しいものとなりました。

当日は、後鳥羽院の御墓守をしておられる村上助九郎さんに講師として来ていただき、俳句の作り方や、秋の感じ方などのアドバイスをいただきました。その後、それぞれの班に分かれて境内を散策し、思い思いの場所で腰掛け、俳句作りに取り組みました。

見たもの、聞いたものをどんどん五七五のリズムに乗せて作品を作る小学生。じつくり考え、一つの作品を練り上げる中学生。どちらもお互いの声を掛け合い、時には中学生が小学生に優しく声をかけ、言葉を引き出してあげようとする姿もみられました。できた俳句

は、班ごとに発表会を行いました。どの俳句にも「いね」など、お互いの作品を認め合う言葉が聞かれました。

海士町の自然の中で秋を感じ、俳句に親しむことができたことはもちろんですが、三校の児童生徒が集まつつ活動をするにあたって、大変穏やかに関わり合い、お互いを尊重しながら活動できる海士町の子どもたちの良さも感じられた行事となりました。

助九郎賞

稲刈りで父の姿が輝く日

海士中 木綿 由紀菜

かまきりのたまごを ひつみつけたよ

海士小 大野 流斗

学年賞

一年 夕焼けが海をてらして光つてる

福井小 淀 遼人

二年 赤とんぼ お墓の上で休んでる

福井小 藤田 みずな

三年 木の上にセミのぬけがらがまつてる

海士小 藤井 航平

四年 冬野菜 祖父の気持ちがつまつる

福井小 永原 莉子

五年 虫の音が森の外まで ひびいてる

海士小 向山 葵

六年 日が落ちて赤く染まらた いわしぐも

海士小 ムラー 彩

(文責 藤野)



校内音楽会

秋晴れの気持ちがいい日、校内音楽会が開かれました。全校合奏 戦場のメリークリスマスは、どこか懐かしいメロディーで子どもたちも口ずさむ姿がたくさん見られた曲です。なかなか音が出なかつたり、リズムがわからなかつたりして苦戦をしていましたが、自分たちのものにして弾きこなすまでになりました。二部合唱 変わらないものは、歌詞の言葉を一つひとつ考えながら、優しい歌声を響かせました。自然と体が揺られて、あたたかい雰囲気の中練習をしてきて、福井子にひびく曲となりました。

代表児童あいさつでもあつたように、子どもたちはさわやかタイムも昼休みも練習に励み合奏曲 合唱曲に自分たちの思いを込めました。その成果から島前音楽会では、さらに感動を与えようと思えました。その様子は、次号でお伝えします。

(文責 兵馬)



学級紹介(三年)

一学期までは四年生との複式でしたが、二学期から三年生だけの単式として新しいスタートを切りました。学級紹介を、子どもへのインタビュー形式でお送りします。

①どんなクラスですか

↓仲良しなクラス。みんなで一緒に遊んだり、笑ったりできるからです。

②学級目標とその意味は何ですか
↓夢と優しさを持つ、「ちえんじー」

「ちえんじー」とは、前向きにどんどん変わっていくことです。前はできなかったことを、できるように変えていくことです。

③クラスとして頑張っていること

↓前向きな言葉を言うことです。「やだ...」などの後ろ向きな言葉ではなく、「やるぞー」という前向きな言葉をみんなで言い合うようにしています。

④クラスの良いところ

↓漢字テストで、一〇〇点を取るまであきらめずに取り組むところです。けんかをしても仲直りができることです。

⑤クラスの課題

↓たまに後ろ向きな言葉を言うてしまふことです。下敷きを使うなど、先生に何度言われても忘れてしまふところがあることです。

⑥理想のクラスに近付くために頑張ること

↓忘れていていること
やみんなが気を付けることで、お互いの声をかけあつてです。

以上、三年生教室よりお送りしました。

(文責 氣賀澤)



研究授業(二年)

主体性をもち、能動的に学び合う児童の育成、国語科におけるアクティブラーニングを研究主題に掲げ、年間を通して計画的に、全学級が国語の研究授業を公開しています。

十月一八日には二年生が、説明文でうづつ

園のじゆういでの授業を公開し、授業研究の場をもちました。子どもたちの学びを引き出し、アクティブラーニングを成立させるには、学習課題をどう設定するかが重要であるという視点を大切にしています。

二年生ではがんばらたことやよかつたことがあると、「よじやー」のかけ声を学校中に響かせ、次のエネルギーにしています。学級の合言葉でもある「よじやー」を学習の中にも生かし、学習課題を「よじやー課題」と呼んで、自分達で学習課題をつくり出すことにすつかり慣れてきました。教師が与える学習課題では子どもたちの意識は途切れてしまいがちです。でも、自分達でつくり出した「よじやー課題」は子どもたちの中に根付き、意識が継続して主体性が引き出され、能動的な学び合いへの期待が膨らみます。

この「うづつ」園のじゆういでの学習では、前半は意図的に教科書を使わない授業を組み立てています。この日は教師の範読

を聞き、はじめて知った「うづつ」園のじゆういの内容からわかたことや感想を書き出す学習をしました。これが「よじやー課題」をつくる手掛かりになることがわかつている子どもたちは、集中して聞き入り、耳からだけの情報とは思えないほどの内容を書き出しました。

そして、つくり出した「よじやー課題」が順序を表す言葉を見つけたながら、ビッグ教科書をつつて表にまとめようです。ビッグ教科書は、順序を表す言葉に注目し、内容のつながりを考えなければ完成できないようになっています。この完成を目指して、試行錯誤を繰り返しながら、順序を表す言葉を見つけただけではなく、よく読むことが大事ということに気づき、また「よじやー」学習のステップを進めることができました。

(文責 山下則)

【各種コンクール結果】

【マナーキッズ】調べ表発表会

会長賞 四年 永原 莉子
奨励賞 四年 久村 理智

11月の主な行事

- 一日火 就学時健康診断
- 二日水 小中マラソン大会
- 四日金 振替休業日(二六日)
- 六日土 PTA研修大会
- 九日土・二〇日 海士町産業文化祭
- 二二日月 島大書道セミナー ※二六日まで
- 二三日水 勤労感謝の日
- 二六日土 あとてフェスティバル

【お知らせ】



▼宮野松理奈主事が産休に入ります。元気なお子さんの誕生が楽しみです。

▼山中綾夏さん(御祖母のご自宅が海士にあり、毎年夏には帰省されているそうです)が、今月一七日から来月十一日まで、教育実習を行っています。

▼シブラルタ生命保険会社様より寄贈 リユースノートパソコン一台

【お願い】

町内で転居された場合は、学校へ一報されることも、役場での転居の手続きをお願いいたします。

